



写真：熊本大学五高記念館所蔵 撮影：星野雅俊



Campus Museum

熊本大学キャンパスミュージアムシンポジウム

デジタル技術が切り開く 地域文化財の未来

SYMPOSIUM

2022

10/15 土

13:30-16:00

(13:00 開場)

参加
無料

場所 熊本大学工学部百周年記念館
(黒髪南地区)

会場には五高記念館等を
中心とした写真を展示します

同時
開催

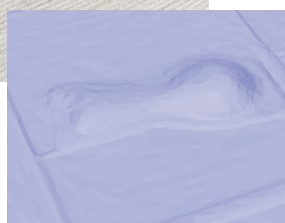
どなたでも参加していただけますが、事前申込が必要です。



登録サイト



井寺古墳(嘉島町)



上鞍掛塚A古墳(阿蘇市)

デジタル技術が切り開く 地域文化財の未来



近年、最新のデジタル技術を用いた文化財の記録や修復が盛んに行われています。本学のキャンパスミュージアム構想においても、こうした技術の導入により学内所蔵の重要文化財や学術資料のデジタルアーカイブ化によって、これらを広く公開していくことを計画しています。

本シンポジウムを事業推進に向けた事前学習会と位置付け、県内外の調査現場での実践報告からデジタル技術が切り開く文化財の未来を語り、その可能性について展望します。

Program

- 13:00 ● 開場
- 13:30 ● 開会挨拶 小川久雄（熊本大学長）
- 13:35 ● 趣旨説明 小畑弘己（キャンパスミュージアム担当副学長・人文社会科学部 教授）
- 13:40 ● 基調講演
「文化財記録の来し方と行く末 2022 ―変化する／しない考えと技術―」
金田明大 氏（独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター長）
- 14:20 ● 講演①
「三次元計測が担う被災文化財復旧への役割」
橋口剛士 氏（嘉島町教育委員会 社会教育課 技師）
- 14:45 ● 講演②
「デジタル技術による文化財位置情報の取得と利活用」
宮本利邦 氏（阿蘇市教育委員会 教育部教育課 社会教育係 主任）
- 休憩
- 15:20 ● パネルディスカッション
「文化財のデジタル化時代における大学博物館の役割」
パネリスト 金田明大 氏、橋口剛士 氏、宮本利邦 氏
コーディネーター 小畑弘己
- 15:55 ● 閉会挨拶 宮尾千加子（熊本大学理事）

司会 新里亮人（キャンパスミュージアム推進室・埋蔵文化財調査センター 助教）



基調講演講師

Akihiro KANEDA

金田明大 氏

古代の日本について、土器・陶磁器を中心とした研究と、三次元計測、遺跡探査など実用的な技術の考古学研究・調査への応用を進めています。



場所 熊本大学工学部百周年記念館
(黒髪南地区)

※公共交通機関をご利用ください。

参加
無料

事前参加登録が
必要です！

登録申込み

下記URLまたは、QRコードよりお申込みください。

<https://forms.gle/cKJFxxKSArxygvwQ6>

登録サイトへ



登録サイト

申込み締切 **10月7日(金)**

